



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 理研計器株式会社
コード番号 7734 URL <http://www.rikenkeiki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷野 純一
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理部長 (氏名) 前田 卓郎 TEL 03-3966-1128
四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,404	22.6	6,408	47.4	6,633	47.3	4,546	43.5
2022年3月期第2四半期	18,278	19.0	4,346	53.4	4,503	55.6	3,167	58.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,610百万円 (36.0%) 2022年3月期第2四半期 4,125百万円 (97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	195.29	—
2022年3月期第2四半期	136.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	73,952	60,133	81.3	2,582.68
2022年3月期	71,606	56,858	78.4	2,412.75

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 60,133百万円 2022年3月期 56,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	21.00	—	39.00	60.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	14.5	11,450	36.3	12,000	36.1	8,400	40.8	360.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	23,661,000株	2022年3月期	23,661,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	377,541株	2022年3月期	384,642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	23,279,379株	2022年3月期2Q	23,269,750株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(表示方法の変更)	10
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染が再拡大したものの、活動制限の緩和により過去の感染拡大局面のような落ち込みは回避される一方、急激な円安による為替相場の変動やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰など、引き続き先行きが不透明な経済情勢が続いております。

当社グループの属する産業用防災保安機器業界におきましては、主要顧客である日本国内及び中国・台湾を中心とする東アジアの半導体業界や、中国・EU圏におけるリチウムイオン電池業界の設備投資が堅調に推移しましたが、半導体に代表される部品の供給不足や資源価格の高騰等が与える影響に十分注意する必要もあり、先行きについても当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

このような情勢の中で、当社グループは、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるとともに、生産の合理化による原価低減、徹底した経費削減、オンラインを活用した営業活動の展開、新製品開発への積極的な投資、品質管理体制及びサービス体制の充実に継続して取り組んで参りました。

これらの諸施策の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は224億4百万円（前年同四半期比22.6%増）、連結営業利益は64億8百万円（前年同四半期比47.4%増）、連結経常利益は66億3千3百万円（前年同四半期比47.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億4千6百万円（前年同四半期比43.5%増）となりました。

当社グループの事業は、各種産業用測定機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に代えて機種別の売上の状況を以下に記載いたします。

① 定置型ガス検知警報機器

当第2四半期連結累計期間の定置型ガス検知警報機器の連結売上高は、153億4千1百万円（前年同四半期比20.3%増）となりました。

② 可搬型ガス検知警報機器

当第2四半期連結累計期間の可搬型ガス検知警報機器の連結売上高は、64億7千5百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

③ その他測定機器

当第2四半期連結累計期間のその他測定機器の連結売上高は、5億8千8百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比較して23億4千6百万円増加し、739億5千2百万円（前連結会計年度末比3.3%増）となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して25億8千2百万円増加し、458億3千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が21億4千2百万円増加したこと、原材料及び貯蔵品が12億9千3百万円増加したこと及び仕掛品が11億5千4百万円増加した一方、現金及び預金が10億5千5百万円減少したこと及び有価証券が12億9千3百万円減少したこと等によるものであります。固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して2億3千6百万円減少し、281億1千8百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が2億5百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末と比較して9億2千8百万円減少し、138億1千9百万円（前連結会計年度末比6.3%減）となりました。流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して7億3千1百万円減少し、114億円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億5百万円減少したこと等によるものであります。固定負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1億9千7百万円減少し、24億1千9百万円となりました。これは主に、固定負債その他に含まれる繰延税金負債が1億2千3百万円増加した一方、長期借入金が1億7千4百万円減少したこと及び固定負債その他に含まれる長期リース債務が1億4千2百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して32億7千4百万円増加し、601億3千3百万円（前連結会計年度末比5.8%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益45億4千6百万円を計上し、剰余金の配当が9億7百万円あった結果、利益剰余金が38億2千9百万円増加した一方、米国の連結子会社であるRKI Instruments, Inc.の子会社株式を追加取得したこと等により、資本剰余金が8億3百万円減少、非支配株主持分が6億9千8百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して19億8千7百万円減少し、160億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を64億2千7百万円、減価償却費を8億5千2百万円計上した一方で、売上債権の増加額が19億6千4百万円、棚卸資産の増加額が21億6千2百万円であったこと及び法人税等の支払額が18億1千6百万円であったこと等により、営業活動の結果使用した資金は3億5千3百万円（前年同四半期は48億3千3百万円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入10億4千9百万円、定期預金の払戻による収入4億1千4百万円があった一方で、有価証券の取得による支出7億9千2百万円、有形固定資産の取得による支出3億6千3百万円及び定期預金の預入による支出4億1千4百万円があったこと等により、△8千1百万円と前年同四半期連結累計期間と比較して支出が16億9千1百万円の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額9億6百万円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出16億8百万円があったこと等により、△29億6千5百万円と前年同四半期連結累計期間と比較して支出が8億2千1百万円の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。

詳細につきましては、本日（2022年11月10日）公表いたしました「2023年3月期 第2四半期（累計）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,551,206	10,495,733
受取手形及び売掛金	9,198,690	11,341,129
電子記録債権	3,519,418	3,795,733
有価証券	9,952,268	8,658,533
商品及び製品	2,744,435	2,665,703
仕掛品	3,307,349	4,461,686
原材料及び貯蔵品	2,391,516	3,684,634
その他	591,190	736,453
貸倒引当金	△3,697	△4,778
流動資産合計	43,252,378	45,834,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,317,187	11,111,488
機械装置及び運搬具(純額)	358,475	386,735
土地	4,079,123	4,053,367
建設仮勘定	46,435	142,889
その他(純額)	1,639,162	1,526,889
有形固定資産合計	17,440,385	17,221,371
無形固定資産		
のれん	595,387	612,400
顧客関連資産	830,848	891,796
その他	436,567	389,601
無形固定資産合計	1,862,803	1,893,798
投資その他の資産		
投資有価証券	5,881,220	5,743,661
退職給付に係る資産	1,813,344	1,851,211
その他	1,359,851	1,411,558
貸倒引当金	△3,500	△3,500
投資その他の資産合計	9,050,916	9,002,931
固定資産合計	28,354,106	28,118,101
資産合計	71,606,484	73,952,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,625,929	4,220,170
短期借入金	995,000	975,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	1,786,207	1,862,551
賞与引当金	920,836	1,296,228
製品保証引当金	98,239	84,892
受注損失引当金	32,008	39,031
その他	3,372,969	2,622,271
流動負債合計	12,131,190	11,400,145
固定負債		
長期借入金	850,580	676,460
資産除去債務	11,133	11,133
その他	1,754,861	1,731,564
固定負債合計	2,616,574	2,419,157
負債合計	14,747,765	13,819,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,565,500	2,565,500
資本剰余金	1,885,187	1,081,772
利益剰余金	49,604,449	53,434,326
自己株式	△226,384	△222,497
株主資本合計	53,828,752	56,859,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,853,706	1,706,262
為替換算調整勘定	477,683	1,568,264
その他の包括利益累計額合計	2,331,389	3,274,526
非支配株主持分	698,577	—
純資産合計	56,858,719	60,133,627
負債純資産合計	71,606,484	73,952,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	18,278,841	22,404,903
売上原価	9,127,858	10,426,788
売上総利益	9,150,982	11,978,115
販売費及び一般管理費	4,804,198	5,569,695
営業利益	4,346,783	6,408,419
営業外収益		
受取利息	21,657	32,285
受取配当金	56,577	60,895
為替差益	47,617	352,391
受取保険金及び配当金	9,381	8,237
有価証券売却益	460	19,133
有価証券評価益	9,682	—
雑収入	43,249	42,149
営業外収益合計	188,627	515,093
営業外費用		
支払利息	24,547	22,126
固定資産除却損	4,117	0
有価証券売却損	—	17,430
有価証券評価損	—	243,299
雑損失	3,397	6,990
営業外費用合計	32,062	289,847
経常利益	4,503,349	6,633,665
特別利益		
固定資産売却益	—	2,559
特別利益合計	—	2,559
特別損失		
固定資産売却損	258	1,141
減損損失	—	26,160
投資有価証券評価損	—	79,528
固定資産処分損	—	102,000
特別損失合計	258	208,830
税金等調整前四半期純利益	4,503,090	6,427,394
法人税、住民税及び事業税	1,277,940	1,759,373
法人税等調整額	△2,749	128,647
法人税等合計	1,275,191	1,888,020
四半期純利益	3,227,899	4,539,373
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	60,586	△6,840
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,167,312	4,546,213

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,227,899	4,539,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	451,352	△147,443
為替換算調整勘定	446,661	1,218,144
その他の包括利益合計	898,013	1,070,700
四半期包括利益	4,125,913	5,610,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,975,056	5,489,350
非支配株主に係る四半期包括利益	150,856	120,723

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,503,090	6,427,394
減価償却費	844,368	852,809
のれん償却額	73,808	90,484
減損損失	—	26,160
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,920	629
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,100	375,391
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△36,005	△13,347
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△67,096	△37,867
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	432	7,023
受取利息及び受取配当金	△78,235	△93,181
受取保険金	△9,381	△8,237
支払利息	24,547	22,126
為替差損益 (△は益)	△175,142	△767,688
固定資産売却損益 (△は益)	258	△1,417
固定資産除却損	4,117	0
固定資産処分損益 (△は益)	—	102,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△302,434	△1,964,992
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△752,043	△2,162,407
仕入債務の増減額 (△は減少)	387,653	△842,025
未払消費税等の増減額 (△は減少)	706,186	△470,044
有価証券売却損益 (△は益)	△460	△1,703
有価証券評価損益 (△は益)	△9,682	243,299
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	79,528
その他	576,633	△492,011
小計	5,696,793	1,371,925
利息及び配当金の受取額	78,685	94,450
利息の支払額	△24,547	△22,126
保険金の受取額	19,799	19,135
法人税等の支払額	△936,918	△1,816,714
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,833,811	△353,330

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,321,208	△792,292
有価証券の売却による収入	140,936	263,399
有価証券の償還による収入	41,090	1,049,050
定期預金の預入による支出	△356,400	△414,000
定期預金の払戻による収入	332,640	414,000
有形固定資産の取得による支出	△588,232	△363,014
有形固定資産の売却による収入	2,741	8,869
有形固定資産の除却による支出	△33,553	△102,000
無形固定資産の取得による支出	△23,154	△36,170
投資有価証券の取得による支出	△2,441	△109,531
投資有価証券の償還による収入	41,090	—
資産除去債務の履行による支出	△6,282	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,772,774	△81,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△194,120	△194,120
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△218,280	△229,860
自己株式の純増減額 (△は増加)	△85	△349
配当金の支払額	△512,521	△906,169
非支配株主への配当金の支払額	△33,479	△25,701
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,185,072	△1,608,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,143,560	△2,965,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	303,767	1,174,065
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,221,244	△2,226,046
現金及び現金同等物の期首残高	13,932,676	17,989,503
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	238,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,153,921	16,002,371

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結の範囲の重要な変更）

第1四半期連結会計期間より、RIKEN KEIKI GmbHは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるRKI Instruments, Inc. の株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が803,415千円減少しております。

その結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,081,772千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（表示方法の変更）

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「有価証券評価損益（△は益）」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フローにおいて、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた566,950千円は、「有価証券評価損益（△は益）」△9,682千円、「その他」576,633千円として組替えております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称：RKI Instruments, Inc.

事業の内容：ガス検知警報機器の販売・アフターメンテナンスサービス

(2) 企業結合日

2022年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、米国においてガス検知警報機器の販売・アフターメンテナンスサービスを展開しております連結子会社のRKI Instruments, Inc.の出資比率を高めるために同社の株式を取得いたしました。株式取得後に当社が保有する同社の議決権比率は75.0%から100.0%となります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等として、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価の対価及び種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,609,550千円
取得原価		1,609,550千円

4. 非支配株主との追加取得に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引等によって減少した資本剰余金の金額

813,870千円